



宇津木台 森遊会 「定例活動」

第7回 実施報告

No.2011-07

実施日	2011年12月23日(祝金) 10:00~16:00	天候: 晴れ	記録: 金森
場所	宇津木台緑地(八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者: 10名(男性6、女性4) 秋田、原田、後藤、諸岡、曾根、神宮、吉川、腰越、北澤、初田 講師: 中元氏(神奈川県森林インストラクター)、インストラクター: 金森		

実施内容

初年度全10回活動の第7回目。オリンパス技術開発センター宇津木従業員玄関に10時に集合。初参加の初田、吉川、曾根さんのみ9:30集合で30分間持ち物などのオリエンテーションを行う。

竹林整備とミニ門松づくりということで竹の専門家として中元氏を講師に招く。寒さが厳しく、午後の門松づくりは野外の芝生か屋内の会議室か迷うところだが、とりあえず竹林整備へと向かう。

竹林は皆伐していいこと、竹の伐り方、片づけ方を説明の後(準備運動を忘れる)、方々に散って間伐を始める、約1.5時間で竹林内に大きな広場ができた。なかなか倒れないなど悪戦苦闘しながらも、メンバーの作業は大変丁寧であった。投棄ごみが多く、ボランティア袋(45L)2個分を回収した。

中元講師には門松の土台となる直径8~10センチの太い竹の調達をお願いする。

昼食は七輪と丸太のロウソクにて干物を焼く、寒かったので暖をとる役目を果たした。フィールドを傷めないように、熱が伝わらないようにする。緑地内の植生調査地、椎茸ホダ木、水辺をチェックする。

技術開発センター宇津木に戻ると日向は暖かく、芝生は風のないスポットになっていたのでここでミニ門松づくりを行う。2班に分かれて、土台と立てる竹を加工する。土台は長さを正確に、立てる竹は治具を使って角度を正確に切る。各自、土台にコモを巻き、シロ縄で固定、竹を入れモミガラで固定したら、飾り(松・センリョウ・ムラサキシキブ・ウメなど)を入れて約2時間でできあがり。



悪戦苦闘中



丁寧な仕事



広場が出現する



丸太のロウソク?で干物



仲良く暖をとる



ミニ門松づくり開始



正確に切る



中元講師ありがとうございました

連絡事項

- ・怪我、ヒヤリハットはなし。
- ・緑地のゴミを入れたボランティア袋は、大2を宇津木台行きバス通りに面した入口に置く。
- ・次回は、1月15日、巣箱作りと設置、低木の除伐を行う。2月はバードウォッチングを予定。